

同志社大学大学院心理学研究科心理学専攻博士後期課程の変更の事由 及び時期を記載した書類

1. 変更の事由

心理学研究科心理学専攻博士後期課程は、研究者・教育者・臨床家として、行政や産業界、教育界、そして地域社会の諸問題の解決に自らの研究を発展させることのできる人物をさらに育成し、社会の要請に応えるため、収容定員の見直しを行う。

前期課程では、2011年度から臨床心理学コースを導入し、前期課程から後期課程への進学者の数も顕著であり、「公認心理師」制度（2018年に最初の国家試験実施予定）の実施後は、さらに心理学研究への関心と社会からの専門家の必要性が高まる傾向が予想されるため、入学定員及び収容定員を増員する。

現在、本研究科における博士学位取得状況は順調であり、増員後の研究指導体制も問題はない。

2. 変更の時期

平成30年4月1日